

## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月12日

上場会社名 株式会社 トラスト 上場取引所 東  
 コード番号 3347 URL http://www.trust-ltd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 賢司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷中 一晴 TEL 052-219-9058  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	5,893	59.2	232	—	210	—	91	—
2021年3月期第1四半期	3,702	△24.9	△291	—	△295	—	△178	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 151百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △226百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	3.53	—
2021年3月期第1四半期	△6.91	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2022年3月期第1四半期	28,981	10,479	23.9	267.28
2021年3月期	28,998	10,427	23.7	265.21

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 6,916百万円 2021年3月期 6,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,617	35.0	754	863.8	698	936.1	186	—	7.19
通期	24,336	21.2	1,611	205.3	1,495	176.2	407	722.1	15.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	28,150,000株	2021年3月期	28,150,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,273,100株	2021年3月期	2,273,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	25,876,900株	2021年3月期1Q	25,876,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により停滞していた社会経済活動や企業の設備投資に回復の兆しが見られましたが、各地域において緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用により未だ企業や国民の活動が制限されています。国際社会においては、感染再拡大によりアジア地域の一部の国ではロックダウン等の厳しい措置が現在も継続されているほか、米中関係は緊張状態が継続し、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、自動車の所有から利用の流れの中で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高5,893百万円(前年同期比59.2%増)、営業利益232百万円(前年同期営業損失291百万円)、経常利益210百万円(前年同期経常損失295百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益91百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失178百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、ロシア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、ケニアといったほとんどの主要輸出先において、前年同期にあった新型コロナウイルス感染症第一波による急激な落ち込みからの反動により、軒並み日本からの輸出台数は著しく増加しております。しかしながら、同感染症等の影響により主要輸送手段である船舶のスペース確保が難しくなっているため、輸出までに時間を要する状況が発生しており、当第1四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は33.5万台(前年同期比79.4%増)となりました。

このような状況のなか、メイン販売先であるアフリカ地域を含むその他の地域の受注を頂いたお客様に出来る限り早くお届けできるよう努め、当社グループの輸出台数は1,354台(前年同期比220.9%増)となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,784百万円(前年同期比219.9%増)、営業利益27百万円(前年同期営業損失109百万円)となりました。

#### ② レンタカー事業

レンタカー業界においても、前年同期の新型コロナウイルス感染症による急激な落ち込みからの反動で需要は回復しております。しかしながら、限られた需要に対して各社の競争は激しさを増しております。

このような状況のなか、当社グループは、当期において直営店の浜松和田店(静岡県)、レンタルバイク新千歳空港店(北海道)、F C店の富士山駅前店(山梨県)、旭店(千葉県)を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は179店、総保有台数は19,083台(前年同期比3.3%増)(※うち、Jネットブランドのみの店舗数は121店、保有台数は13,295台(前年同期比2.0%増))となり、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,947百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益173百万円(前年同期営業損失157百万円)となりました。

#### ③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、本国同様に新型コロナウイルス感染症からの回復基調により、2021年1-6月期の新車販売台数は22.8万台(前年同期比41.3%増)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でスズキディーラー4店舗を運営しております。新車販売台数は合計488台(前年同期比171.1%増)、中古車販売台数は合計272台(前年同期比216.3%増)となり、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった前年同期と比べて販売台数は大幅に増加し、業績は好調を維持しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,223百万円(前年同期比304.7%増)、営業利益27百万円(前年同期営業損失23百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、13,469百万円となりました。これは受取手形、売掛金及び契約資産128百万円、商品及び製品156百万円が増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、15,512百万円となりました。これは機械装置及び運搬具146百万円、リース資産が146百万円減少したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、28,981百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、14,035百万円となりました。これは短期借入金が450百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、4,466百万円となりました。これはリース債務が105百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、10,479百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては、さらに既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、集中と選択を行った既存店舗の売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、2021年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	718,268	733,595
受取手形及び売掛金	2,589,934	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,718,472
リース債権及びリース投資資産	7,310,716	7,084,573
商品及び製品	1,965,323	2,121,877
仕掛品	665	600
原材料及び貯蔵品	28,114	37,736
その他	768,166	963,883
貸倒引当金	△192,630	△191,724
流動資産合計	13,188,557	13,469,015
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,795,467	2,649,353
リース資産（純額）	6,682,992	6,536,685
土地	3,500,983	3,500,983
その他（純額）	1,900,488	1,864,241
有形固定資産合計	14,879,932	14,551,264
無形固定資産		
のれん	57,477	56,302
その他	57,180	63,763
無形固定資産合計	114,657	120,066
投資その他の資産		
その他	856,999	882,500
貸倒引当金	△41,456	△41,427
投資その他の資産合計	815,543	841,073
固定資産合計	15,810,133	15,512,404
資産合計	28,998,691	28,981,420
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	610,767	421,034
短期借入金	2,450,000	2,900,000
1年内返済予定の長期借入金	9,996	10,016
リース債務	9,550,341	9,099,836
未払法人税等	6,896	72,221
賞与引当金	122,792	64,889
その他	1,253,485	1,467,840
流動負債合計	14,004,279	14,035,838
固定負債		
長期借入金	2,519	—
リース債務	4,413,068	4,307,971
役員退職慰労引当金	10,135	10,619
資産除去債務	71,526	71,614
その他	69,778	76,234
固定負債合計	4,567,028	4,466,440
負債合計	18,571,308	18,502,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	4,985,721	5,025,290
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	6,891,312	6,930,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,562	23,684
為替換算調整勘定	△47,088	△38,098
その他の包括利益累計額合計	△28,525	△14,413
非支配株主持分	3,564,596	3,562,673
純資産合計	10,427,383	10,479,141
負債純資産合計	28,998,691	28,981,420

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,702,164	5,893,334
売上原価	2,946,170	4,500,665
売上総利益	755,994	1,392,669
販売費及び一般管理費	1,047,046	1,160,468
営業利益又は営業損失(△)	△291,052	232,200
営業外収益		
受取利息	2,454	2,296
受取配当金	600	1,292
受取補償金	107	—
助成金収入	5,811	—
為替差益	—	2,928
その他	8,129	3,221
営業外収益合計	17,102	9,739
営業外費用		
支払利息	19,665	28,778
為替差損	190	—
その他	1,777	2,981
営業外費用合計	21,634	31,759
経常利益又は経常損失(△)	△295,584	210,179
特別利益		
投資有価証券売却益	11,582	—
特別利益合計	11,582	—
特別損失		
固定資産除却損	59	65
特別損失合計	59	65
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△284,061	210,114
法人税、住民税及び事業税	2,653	91,468
法人税等調整額	△47,666	△19,202
法人税等合計	△45,013	72,266
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△239,047	137,848
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,274	46,525
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△178,773	91,322



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△239,047	137,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,138	4,999
為替換算調整勘定	5,140	8,990
その他の包括利益合計	12,279	13,990
四半期包括利益	△226,768	151,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△166,582	105,434
非支配株主に係る四半期包括利益	△60,185	46,404

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、顧客との約束が財又はサービスを他の当事者によって提供されるように手配する履行義務である場合には、代理人として純額で収益を認識しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当連結会計年度の売上高及び売上原価はそれぞれ217,526千円減少しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取り扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	549,440	2,850,352	302,371	3,702,164	—	3,702,164
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,296	29,855	—	38,151	△38,151	—
計	557,737	2,880,207	302,371	3,740,316	△38,151	3,702,164
セグメント利益又は損失(△)	△109,251	△157,857	△23,292	△290,401	△650	△291,052

(注) 1 セグメント利益の調整額△650千円には、のれん償却額△1,514千円、棚卸資産の調整額△143千円、その他1,007千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,773,114	2,896,611	1,223,608	5,893,334	—	5,893,334
セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,152	50,430	—	61,582	△61,582	—
計	1,784,267	2,947,041	1,223,608	5,954,917	△61,582	5,893,334
セグメント利益又は損失(△)	27,074	173,622	27,095	227,792	4,408	232,200

(注) 1 セグメント利益の調整額4,408千円には、のれん償却額△1,549千円、棚卸資産の調整額5,957千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同上に変更しております。

この結果、従来の会計処理と比較して、当第1四半期連結累計期間の「レンタカー事業」の売上高が217,526千円減少しておりますが、セグメント利益に与える影響はありません。